

独立行政法人日本学生支援機構の令和3年度業務実績に関する評価結果を踏まえた業務運営の改善等への反映状況

中期計画項目	令和3年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和4年度業務運営への反映状況												
<p>I 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 留学生支援事業 (1)外国人留学生に対する支援</p> <p>①日本留学に関する情報提供等の充実</p>	<p><13>日本留学に関する情報提供等の実施状況</p> <p>コロナ禍において、オンライン等を活用した活動を行い、アクセス数を伸ばしたことは評価できる。一方で、コロナ禍であり、オンラインでないと情報が取りにくい状況が要因として考えられ得ることから、今後コロナの影響が現れなくなった状況下においても、同様の成果を得るなど、日本留学希望者を惹きつける取り組みを進める必要がある。</p>	<p>○インターネットによる情報発信</p> <p>(1)「日本留学情報サイト」による情報発信</p> <p>①情報発信の状況</p> <p>コンテンツの精査と充実を図るため、文部科学省及び外務省との検討会議を実施し、日本への留学に関する情報やFAQの内容を見直し、更新するとともに、政府機関等の留学生支援に関するイベントの情報を提供する等、情報発信の更なる充実を図った。令和4年度は、学校選択の参考となるよう各都道府県の生活に関する基本情報を紹介するページを公表した。また、文部科学省、文化庁と連携し、ウクライナの学生に対する日本の大学、日本語教育機関の支援の情報について収集、掲載するとともに随時情報を更新した。</p> <p>また、日本への留学を検討する学生や保護者、教育関係者等が母国語で日本留学に関する基本的な情報を得られるよう、令和5年2月以降順次、英語以外の外国語(10言語)での掲載を開始し、日本留学について広く情報を発信した。</p> <p><日本留学情報サイトのアクセス件数></p> <table border="1" data-bbox="1128 775 1975 842"> <thead> <tr> <th>令和4年度</th> <th>(参考)令和3年度</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,640,429件</td> <td>4,356,450件</td> <td>129.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>②関係機関との連携</p> <p>独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)、自治体等が国内外で実施するイベント情報を日本留学情報サイトやSNSに掲載し、広報の協力を行った。</p> <p>(2)SNSによる情報発信</p> <p>日本留学イベント等に関する広告に併せてFacebookを運用し、適宜日本留学をはじめとする幅広い情報提供を行い、日本留学に関する情報発信を行うことで、情報提供の窓口を広げた。</p> <p><留学生事業のFacebookファン数></p> <table border="1" data-bbox="1128 1235 1957 1302"> <thead> <tr> <th>令和4年度</th> <th>(参考)令和3年度</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22,684件</td> <td>19,901件</td> <td>114.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)Facebookのファン数は、年度末時点の件数を表す。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた留学希望者の増加のためには、SNSを通してより広く情報を発信することが有用であることから、情報提供の窓口を拡大し、日本留学を希望する外国人留学生に特化した情報発信をすることを目的に、令和4</p>	令和4年度	(参考)令和3年度	前年度比	5,640,429件	4,356,450件	129.5%	令和4年度	(参考)令和3年度	前年度比	22,684件	19,901件	114.0%
令和4年度	(参考)令和3年度	前年度比												
5,640,429件	4,356,450件	129.5%												
令和4年度	(参考)令和3年度	前年度比												
22,684件	19,901件	114.0%												

中期計画項目	令和3年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和4年度業務運営への反映状況																								
		<p>年 3 月 22 日から運用開始した Instagram を活用するとともに、JASSO Study in Japan Facebook の運用を開始した。</p> <p><JASSO Study in Japan のFacebookファン数></p> <table border="1" data-bbox="1128 363 1431 432"> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1,575人</td> </tr> </table> <p>(注)Facebook のファン数は、年度末時点の件数を表す。</p> <p><JASSO Study in JapanのInstagramフォロワー数></p> <table border="1" data-bbox="1128 533 1431 601"> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1,312人</td> </tr> </table> <p>(注)Instagram のフォロワー数は、年度末時点の件数を表す。</p> <p>○海外事務所における情報発信</p> <p>海外における新型コロナウイルス感染症対策の緩和傾向及びウィズコロナの浸透により、海外事務所の設置されているマレーシア、タイ、インドネシア、韓国及びベトナムにおいても対面式イベントの開催が復活しつつあることから、各国で行われる対面式の説明会やオンラインイベント等に参加し、情報提供及び留学相談を行った。</p> <p>また、各国において海外への留学の機運が戻りつつある中、日本留学への機運の維持に寄与するため、各事務所独自の説明会をオンライン及び対面にて実施した。加えて、ホームページ及び Facebook 等 SNS を利用して、日本留学に関する情報発信を行うとともに、電話や E-mail 等による留学相談を行った。</p> <p><海外事務所ホームページアクセス件数等></p> <table border="1" data-bbox="1128 1023 1946 1353"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和4年度</th> <th>(参考)令和3年度</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホームページ アクセス件数</td> <td>496,746 件</td> <td>1,324,016 件</td> <td>37.5%</td> </tr> <tr> <td>Facebookファン数 (注1)</td> <td>103,687 件</td> <td>93,453 件</td> <td>111.0%</td> </tr> <tr> <td>事務所相談件数 (注2)</td> <td>8,173 件</td> <td>7,673 件</td> <td>106.5%</td> </tr> <tr> <td>現地説明会 情報提供件数 (注3)</td> <td>28,511 件</td> <td>13,638 件</td> <td>209.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1)Facebook のファン数については、年度末時点の件数を表す。 (注 2)各事務所における電話や E-mail 等での個別相談件数を表す。 (注 3)各事務所が主催又は外部機関が主催する説明会での参加者等を表す。</p>	令和4年度	1,575人	令和4年度	1,312人	区分	令和4年度	(参考)令和3年度	前年度比	ホームページ アクセス件数	496,746 件	1,324,016 件	37.5%	Facebookファン数 (注1)	103,687 件	93,453 件	111.0%	事務所相談件数 (注2)	8,173 件	7,673 件	106.5%	現地説明会 情報提供件数 (注3)	28,511 件	13,638 件	209.1%
令和4年度	1,575人																									
令和4年度	1,312人																									
区分	令和4年度	(参考)令和3年度	前年度比																							
ホームページ アクセス件数	496,746 件	1,324,016 件	37.5%																							
Facebookファン数 (注1)	103,687 件	93,453 件	111.0%																							
事務所相談件数 (注2)	8,173 件	7,673 件	106.5%																							
現地説明会 情報提供件数 (注3)	28,511 件	13,638 件	209.1%																							

中期計画項目	令和3年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和4年度業務運営への反映状況																																
		<p>○日本留学フェア等の実施及び関係機関が実施する説明会等への参加状況</p> <p>世界各地における新型コロナウイルス対策の緩和傾向及びウィズコロナの浸透を鑑み、現地からの強い要望があった台湾において対面式の日本留学フェアを再開するとともに関係機関が主催するイベント等にも参加し、日本留学に係る情報提供を行った。</p> <p>併せて、前年度同様、オンラインでの情報提供を目的として、全世界を対象として「日本留学オンラインフェア」を実施した。</p> <p>日本留学オンラインフェアは、前年度の結果を参考に英語での開催とした。日本への留学生が多く英語での広報効果が見込める国(インド・インドネシア・フィリピン・タイ・ベトナム・マレーシア)を重点配信地域とし、Google ディスプレイネットワーク(YouTube や Gmail 等のGoogle が提携する様々なサイトやアプリにバナー等の広告を配信)、SNS(Facebook、Instagram 等)、検索サイトへの広告掲載といったデジタル広告を実施し、日本留学オンラインフェアの周知広報及び参加促進を図った。併せて、外務省、国際交流基金及び各国関係機関等の協力により、全世界に向けて広報を行った結果、日本留学オンラインフェアでは、136の国・地域から参加があった。</p> <p>併せて、日本留学オンラインフェアの効果を高めるため、事前イベントとして日本留学概要・奨学金・在留資格に関するセミナーや、フォローアップイベントとして参加機関から講師を募り、日本留学の魅力の発信、日本での就職を主題としたセミナーを「日本留学オンラインセミナー」と題し、オンラインで実施した。</p> <p>(1)日本留学フェアの実施状況</p> <table border="1" data-bbox="1128 906 2029 1038"> <thead> <tr> <th>国・地域</th> <th>都市</th> <th>日程</th> <th>参加機関数</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">台湾</td> <td>高雄</td> <td>7月16日</td> <td rowspan="2">延べ 218 機関</td> <td rowspan="2">2,787 人</td> </tr> <tr> <td>台北</td> <td>7月17日</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1128 1070 2029 1461"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>日程</th> <th>参加機関数</th> <th>参加者数 (注1)</th> <th>満足度 (注2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本留学オンラインセミナー(日本留学概要)</td> <td>7月15日・16日・20日・22日・23日 8月10日・12日・13日・14日・19日・20日</td> <td>—</td> <td>474人 486人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>日本留学オンラインセミナー(奨学金)</td> <td>7月23日・24日・28日・29日 8月20日・21日・22日・26日</td> <td>—</td> <td>639人 747人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>日本留学オンラインセミナー(在留資格)</td> <td>7月25日</td> <td>—</td> <td>98人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	国・地域	都市	日程	参加機関数	来場者数	台湾	高雄	7月16日	延べ 218 機関	2,787 人	台北	7月17日	名称	日程	参加機関数	参加者数 (注1)	満足度 (注2)	日本留学オンラインセミナー(日本留学概要)	7月15日・16日・20日・22日・23日 8月10日・12日・13日・14日・19日・20日	—	474人 486人	—	日本留学オンラインセミナー(奨学金)	7月23日・24日・28日・29日 8月20日・21日・22日・26日	—	639人 747人	—	日本留学オンラインセミナー(在留資格)	7月25日	—	98人	—
国・地域	都市	日程	参加機関数	来場者数																														
台湾	高雄	7月16日	延べ 218 機関	2,787 人																														
	台北	7月17日																																
名称	日程	参加機関数	参加者数 (注1)	満足度 (注2)																														
日本留学オンラインセミナー(日本留学概要)	7月15日・16日・20日・22日・23日 8月10日・12日・13日・14日・19日・20日	—	474人 486人	—																														
日本留学オンラインセミナー(奨学金)	7月23日・24日・28日・29日 8月20日・21日・22日・26日	—	639人 747人	—																														
日本留学オンラインセミナー(在留資格)	7月25日	—	98人	—																														

中期計画項目	令和3年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和4年度業務運営への反映状況				
		日本留学オンラインセミナー(就職)	8月17日	-	25人	-
		日本留学オンラインフェア	7月30日・31日	49	25,062人	96.2%
	8月17日・18日		51	28,008人	94.3%	
		日本留学オンラインフォローアップセミナー	11月16日	-	152人	-
	12月6日		-	48人	-	
	2月15日		-	191人	-	
		(注1) セミナー又はライブセッションページに訪問したユーザー数の合計。				
		(注2) 日本留学オンラインフェアの参加者アンケートでは、「日本に留学するために知っていた情報が聞けて、とても参考になった」、「留学経験者の話が聞けて、日本の大学や日本での生活が具体的にイメージできた」等の他、参加機関への感謝の声もあった。				
		(2) 関係機関が主催するイベント等への参加 新型コロナウイルス感染症の収束及び中国国内の新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴い、中国国際教育展が再開されることとなり、機構は現地日本大使館と共同でブースを出展し、オンラインで日本留学に係る情報提供・留学相談を行った。 この他、日本留学プロモーションの一環として、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が主催するオンラインイベントに計10回、その他関係機関が主催するイベントに計4回オンラインにて参加し、日本留学に関する情報提供を行った。				
		○日本留学海外拠点連携推進事業(※)日本本部の活動状況				
		<ul style="list-style-type: none"> ・事業採択大学が実施する日本留学フェアやセミナー及び各種会議に参加し、日本留学に関する説明や事業紹介等の活動を実施した。また、各採択大学と連携し、現地拠点事務所からの要望を踏まえ、日本留学に関する情報を共有するとともに、日本留学フェア開催時や各拠点事務所での活動の際に、現地で幅広く活用できるよう、日本留学紹介用データ資料等、各種電子媒体を提供した。 ・スリランカ国内留学生会からの要請を受け、同会主催の日本留学説明会において、本事業及び日本留学概要について説明した。 				
		<p>※文部科学省が戦略的な留学生受入れを行う大学を選考・採択し、「世界の成長を取り込むための外国人留学生の受入れ戦略」(平成25年12月18日)において設定された重点地域に留学コーディネーターを配置し、日本留学のプラットフォームの構築、現地の情報収集の強化、日本留学の魅力の伝達等を行ってきた留学コーディネーター配置事業を拡充・発展し、平成30年度から行っている。</p> <p>採択大学(海外拠点地域)は、東京大学(南西アジア地域)、岡山大学(ASEAN地域)、筑波大学(南米地域)、北海道大学(サブサハラ地域)、北海道大学・筑波大学・新潟大学</p>				

中期計画項目	令和3年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和4年度業務運営への反映状況
<p>I 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 留学生支援事業</p> <p>(1)外国人留学生に対する支援</p> <p>③日本語教育センターにおける教育の実施</p>	<p><17>日本語教育センターの卒業予定者による教育内容等に対する満足度</p> <p>日本語教育センターに対する満足度では、前年度と比べて改善しているが、個別項目においては、必ずしも十分な満足を得られたのか明確ではないため、引き続き、教育及び教育環境の改善を図り、質の向上に努めていただきたい。</p>	<p>(ロシア連邦・CIS 地域)、九州大学(中東・北アフリカ地域)の6大学である。</p> <p>○令和3年度のアンケート結果を踏まえた改善等</p> <p>(1)大阪日本語教育センターにおける授業の満足度向上に向けた取組</p> <p>①日本語の教員に対してはほぼ好評価であったが、一部、説明が分かりにくいという意見があった教員には、教案作成などの指導を個別に実施した。</p> <p>②基礎科目で不満の意見があった教員には、個別に面談し不満解消の方法を検討する等で改善を図った。</p> <p>(2)高い満足度の維持及び質の高い教育実践のため、以下の取組を行った。</p> <p>①学習についてのサポート</p> <p>授業内容等の学生からの相談に対し、可能な限り柔軟にきめの細かい対応を行った。なお、学力レベルが十分でない学生に対しては、個別に補習授業等を行い、学力伸長を図った。</p> <p>②学習環境の整備</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、前年度に引き続き教室等にパーティションを設置した。</p> <p>③進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の希望や学力に沿って個別に指導を行った。 ・東京日本語教育センターでは令和4年9月から令和5年1月にかけて、武蔵野大学、立命館アジア太平洋大学、信州大学、会津大学の進学説明会をオンラインで開催した。 ・大阪日本語教育センターでは令和4年7月から11月にかけて、関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学、岡山大学、兵庫県立大学・大学院及び京都先端科学大学・大学院の説明会を対面又はオンラインで開催した。 <p>④学生生活に係るサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染防止を目的として、手洗い、うがい、マスク着用の励行及び「三つの密」の回避を指導した。また、登校時には学生全員を検温するとともに、校舎に入る前のアルコールによる手指の消毒を行い、習慣となるよう指導した。 ・教室や共有スペースの消毒、室内のパーティションの設置、ソーシャルディスタンスの確保及び換気等の可能な対策を徹底するとともに、東京日本語教育センターでは学校棟及び寮棟の共用部分に抗菌加工を実施した。 ・病気・けがの学生に対しては、必要に応じて教職員が病院に付き添い、症状を医者

中期計画項目	令和3年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和4年度業務運営への反映状況
		<p>に的確に伝えることで、学生の不安を取り除くとともに、正しい治療が受けられるよう努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症にみられる症状のある学生には医療用抗原検査キットを提供し検査させたほか、必要に応じて職員が付き添いPCR検査を受検し、自宅待機の対応をとった。また寮生が自宅待機をしている間は、共用部の使用を分ける等、可能な限り人との接触の機会を減らす対応を行った。 <p>⑤生活における学生の悩みへの対応</p> <p>教職員、レジデント・アシスタント(外国人留学生の生活サポートを行う日本人学生等)、カウンセラー及び産業医と連携し、学習面でのサポートや欠席や遅刻が続く学生への面談等を積極的に実施する等、学生を孤立させず、異文化不適応による引きこもり等の予防や不安の解消に努めた。東京日本語教育センターでは新型コロナウイルス感染症流行による不安を考慮し、未来日の学生にもカウンセラーの相談がオンラインで受けられるよう配慮した。</p>
<p>I 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 学生生活事業</p> <p>(1) 学生生活、学生生活支援に関する情報の収集・分析・提供</p>	<p>〈24〉学生生活・学生生活支援に関する情報の収集・分析・提供の状況</p> <p>実施する調査の項目や内容については、政策的必要性や社会的情勢、また学生等にとっての分かりやすさの観点から、引き続き検討する必要がある。</p>	<p>○学生生活調査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の生活状況を把握するため、全国の大学、短期大学、大学院の学生を対象として、「学生生活調査」を、高等専門学校(4、5年次)及び専修学校(専門課程)の学生・生徒を対象に「高等専門学校学生生活調査」及び「専修学校学生生活調査」を名称変更を隔年で実施している。令和4年度は、学生生活調査実施検討委員会による審議を踏まえ、調査票を決定し、従前の紙面による調査からオンラインによる調査に変更して、令和4年11月～令和5年1月に実施した。 ・次回調査(令和6年度)における課題の洗い出しを目的として、学生及び学校担当者のアンケート及び外部委託による調査システムの機能の検証等を行った。今後はこれらの検証結果を踏まえ、次回調査の実施方法や設問内容の検討を行うこととしている。
<p>III 財務内容に関する事項</p> <p>2 寄附金事業の実施</p>	<p>〈36〉寄附金事業の実施状況</p> <p>学生支援寄附金の受入額と比較すると、寄附金を原資とした取組の支出額は少額に収まっていることから、受け入れた寄附金をより活用することも検討して欲しい。</p>	<p>○学生支援寄附金活用の検討</p> <p>受け入れた学生支援寄附金を活用するため、「児童養護施設等の生徒への受験料支援」の実施について、文部科学省と連携の上検討を進め、令和5年度から開始することについて、令和5年3月29日に公表した。</p> <p>○JASSO 災害支援金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害等により、学生・生徒又はその生計維持者の居住する住宅が半壊以上等の被害を受けたことで、学生生活の継続に支障をきたした学生・生徒に対し、一日も早く通常の学生生活に復帰し、学業を継続するための支援として、JASSO 災害支援金(1人10万円)を支給した。 ・災害救助法適用時の緊急採用・返還期限猶予制度等を案内するプレスリリースやTwitter等に、併せてJASSO 災害支援金の案内を行い、周知に努めた。

中期計画項目	令和3年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和4年度業務運営への反映状況									
		<p data-bbox="1137 268 1464 293"><JASSO 災害支援金支給状況></p> <table border="1" data-bbox="1128 300 1877 466"> <thead> <tr> <th data-bbox="1128 300 1290 331">区分</th> <th data-bbox="1290 300 1581 331">令和4年度</th> <th data-bbox="1581 300 1877 331">(参考)令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1128 331 1290 399">支給人数</td> <td data-bbox="1290 331 1581 399">245人 (うち、留学生0人)</td> <td data-bbox="1581 331 1877 399">128人 (うち、留学生1人)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1128 399 1290 466">支給総額</td> <td data-bbox="1290 399 1581 466">24,500千円 (うち留学生0千円)</td> <td data-bbox="1581 399 1877 466">12,800千円 (うち留学生100千円)</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1099 501 1536 526">○新型コロナウイルス感染症対策助成事業</p> <p data-bbox="1128 533 2033 689">「新型コロナウイルス感染症対策助成事業(食に対する支援)」(第3弾)として学生生活を送るための食費の支援事業を行う大学・短期大学(大学院を含む)、高等専門学校(4・5年)、専修学校専門課程及び日本語教育機関等に対し、当該支援に係る事業費の一部(2分の1以内かつ10万円～100万円以内)の額の助成を実施した。予算規模に合わせて先着順で申請を受け付け、事業を実施した432校に対し、合計約2.4億円の助成を行った。</p> <p data-bbox="1099 724 1476 750">○物価高に対する経済対策支援事業</p> <p data-bbox="1128 756 2033 948">円安やウクライナ情勢等の国際情勢に端を発する資源価格上昇に伴う物価高の影響により厳しい生活を余儀なくされている学生等を支援するため、学生生活を送るための食費や修学に必要な消耗品(文房具・教材等)等の費用を支援する大学等に対し、当該支援に係る経費の一部(事業費の10分の9以内かつ100万円以下)の額の助成を行うこととし、プレスリリースにより、報道機関や大学等への周知を図り(令和4年11月11日)、予算規模に合わせて先着順で1,160校からの申請を受け付け、合計8.7億円の支援金を交付した。</p>	区分	令和4年度	(参考)令和3年度	支給人数	245人 (うち、留学生0人)	128人 (うち、留学生1人)	支給総額	24,500千円 (うち留学生0千円)	12,800千円 (うち留学生100千円)
区分	令和4年度	(参考)令和3年度									
支給人数	245人 (うち、留学生0人)	128人 (うち、留学生1人)									
支給総額	24,500千円 (うち留学生0千円)	12,800千円 (うち留学生100千円)									